令和８年４月１日

様式１

令和８年度　学校経営環境分析書

明徳中学校区　校番 20　明徳中学校

１　学校の内外環境の分析

外部環境	O（支援的要因）	S（強み）	内部環境
	【地域】 ・地域の方の学校への関心が高く，協力的である。 ・自然が豊かである。 【市】 ・小中一貫教育を基盤とし，重点を明確にした教育活動が展開されている。 ・AI 型ディジタルドリルなど，ＩＣＴ環境が整備されている。	【学校】 ・少人数のため，生徒に目が行き届く。 ・縦割り活動等の異学年交流が盛んである。 ・校区の小学校と一貫した教育を行っている。 【生徒】 ・素直で，明るく，優しい生徒が多い。 ・幼少期からほぼ同じ集団で育ち，互いをよく知っている。 ・授業に落ち着いて取り組む。	
	T（阻害的要因） 【学校】 ・校舎が古く，不具合が多い。 ・少ない教員で分担するため，分掌の負担が大きい。 【生徒】 ・人間関係が固定化している。 ・多様な考えに触れる機会が少ない。 【家庭】 ・メディアコントロールに課題がある。 ・家庭学習の時間が短い。	W（弱み） 【学校】 ・学校経営が組織的でない部分がある。 ・教員が，生徒に手をかけ過ぎる傾向がある。 ・生徒数が少なく，活動が制限される。 【生徒】 ・学力や学習習慣の定着に課題がある生徒がいる。 ・自分の思いをはっきりと表現しにくい生徒がいる。	

支援的要因と強みを生かした活動・取組は

①対話の重視

②個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

③地域の資源（ひと・もの・こと）を生かした学習活動の実施

④縦割り活動や保・小・中合同の行事の実施

①学校経営目標達成に向けた取組の選択・集中

②生徒が主体となる学びや活動の推進

③SEL（社会性と情動の学習）の活用

④家庭，小学校と連携した生活リズム確立のための取組

阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は

２　重点課題

① 授業改善の推進

・主体的な学びを実現する授業づくり

② 自己有用感の育成と防災教育の深化

・個を大切にした支援の充実
・いじめを許さない学校環境づくり
・自分の命は自分で守る力の育成

③ 安心・安全な教育環境の整備

・教職員による不祥事の根絶
・働き方改革の推進